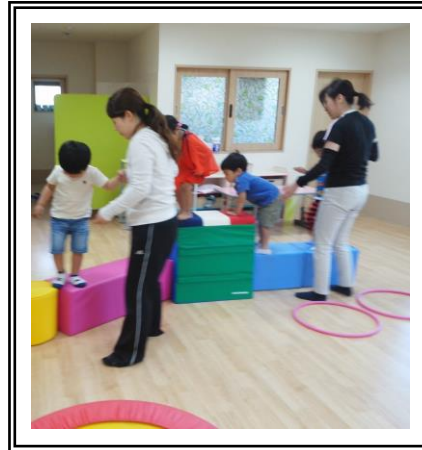


【2016 年度の総括】

①収支状況 (表中の単位：千円)

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	15,303	85.0	
支出	23,193	104.6	
経常収支差額	-7,890		



評価：利用メンバーさんは 32 名ほど登録されているが、週 1～2 回程度のご利用が中心であるため、大幅な稼働率の向上には結びつかなかった。また、現場運営に対するスタッフ体制が非常に不安定でもあり、利用者獲得に向けて積極的に動くことが難しかった。目標としていた予算達成には至らずであった。

②職員配置と研修 (職員数は 2017 年 1 月現在)

常勤 2 名、非常勤 4 名(1 日平均 2 名程度)、専門職 6 名。2016 年 4 月からスタートしたが、スタッフ体制が安定せず、7 月より常勤 1 名を追加で採用する。常勤職員も新たな取り組みの事業であったため、専門職の力も借りながら、活動を形作っていった。

研修については、ST 専門職を講師に招き、活動内容の見直しに取り組む。また、ABA など、必要と思われる内容に関しては、適宜参加してもらい、現場で活かせるよう調整した。

③事業内容

火曜～土曜日で実施。内容は、火曜：親子の遊び①、水曜：親子の遊び②・単独グループ、木曜：療育グループ①②、金曜：音楽療法①②、土曜：単独グループ②。各グループで個々の目標、全体のテーマを持って活動を実践した。祝日に特別企画として、音楽療法の体験や、調理企画などを実施している。

職員だけでは力不足な点もあり、専門職の力を貸していただく中で、少しずつ進めて行った。

【2017 年度の計画】

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	18,010	↑	稼働率 80%を目指す
支出	21,693	↓	人件費：常勤職員 3 名分(昨年度 7 月から変わらずだが、現場で実稼働できる職員分を計上)・専門職スタッフ 6 名・パートアルバイト 2 名分(1 日平均) パートアルバイトの勤務については精査していく。

② 主課題

①活動内容の確立

ST専門家にアドバイスをいただきながら、発達アセスメント、個別支援計画、活動プログラムを考案していく。アセスメントを基に個別支援計画を立てることで、ご家族とのやり取りもスムーズになるよう取り組んでいきたいと考えている。また、前年度の活動の中で得た知識についても活動に活かす。とりあえず実践するから、意図的な内容作りを目指して行く。

②人材育成・人材確保

2016年度のスタッフ体制の不安定さと、専門家としてのスキルを求められる現場である事から、現場で実稼働する職員を増やしていただく。

計画的な職員の人材育成が必要であり、長い目で職員の資質、スキルが向上できるように研修計画等も進めていきたい。

③安定した稼働率の確保

近隣の区役所、相談支援等とも連絡・連携を取り、新規の利用者を獲得できるよう努めていく。また、昨年度からご利用いただいているメンバーさん・ご家族に対しては丁寧に支援、説明を実施し、活動内容がご自宅、幼稚園、保育園で活かされることを目指して関わることで、積極的な利用に結び付けていきたい。

③ 年間事業計画（予定）

月	事業・行事等	会議	研修計画(内部・外部)
4	新年度開始		*すみすみ研修に適宜参加
8	お盆休み		
12	年末休み		
1	年始休み		
3	グループ終了・他機関引き継ぎ準備		

☆すみすみ：2013年4月にすみすみを発足しました。住吉区、住之江区の障がい児通所支援事業所22カ所、相談支援事業所3カ所、住吉区社協、住之江区社協、住吉区CSWが加盟しています。情報交換を中心に【顔の見える関係】、【気軽に連携しよう】と毎月集まっています。また、【みんなで質の向上をしよう!】と合同研修を開催しています。保護者さん向けの勉強会も開催して、子どもたちにとってよりよい関わりができるようすみすみを進めています。すみすみの代表は、じらふの職員上田がしています。